

# とうきょう すぐわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然～身近な生き物～  
だんごむしから広がった興味・関心

<テーマの設定理由>

<園の特色> 和の保育方針 自然 心 礼節 伝統  
自然 自然と触れ合い強く生きる力をつける  
生命 生命の不思議さと尊さを知る  
恵 他の生命により生かされていることを知る  
ダンゴムシから始まった生き物の飼育。あおむしやヤモリ、カタツムリなど様々な生態に触れ、その中で教材を揃えていくことでさらに興味関心が深まる様子が見られた。

## 2. 活動スケジュール

2025年5月～11月

- 5月 戸外遊びの公園での発見
- 6月 室内に持ち帰り飼育ケースへ。
- 7月 飼育ケースを新調。観察の幅を広げ観察キット（虫眼鏡・図鑑など）導入。
- 10月 環境設定で子ども達の目的意識の芽生え
- 11月 だんごむし飼育から様々な生き物への興味の広がり

### 3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

図鑑で室内にいる生き物を見つけたり、似ている動植物に興味を持ってお友だちと会話を楽しんだりしていた。また、ヤモリに与えるエサ(蜘蛛)を見つかったときには自分たちの手でつぶさないように捕まえたり、カタツムリの虫かごに野菜が入っていないことに気がついたりする姿が子ども同士の関わりの中で広がっていった。

観察コーナー



目的意識の芽生え

取りやすい収納



これかな？（相談）

新たな発見！？



すぐに観察

ねえ、ここ見て！



そーっと・・・

### 4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

生き物に実際に触れて力加減を学んだり、お世話を通して「ご飯、まだあるかな？」 「食べたいかな」と確認し生き物に対して愛着が湧くことで責任感の芽生えに繋がった。 いつでも触れられる、お世話ができる環境があるからこそ子ども達が自ら気が付き行動していた。継続的な発展をしていくことで親しみよりも深まり、興味関心の広がりへと繋がった。友だちとのやり取りにも発展し、協力する姿や譲りあう姿にも繋がった。